

# 日本経営品質賞を受賞し思うこと 社員の子どもが働きたいと思える魅力的な会社を目指して

講師：<sup>つるがの</sup>鶴ヶ野 <sup>みお</sup>未央氏 (株)九州タブチ 代表取締役社長)

(2018 年度日本経営品質賞受賞企業)

日時：令和元年 11 月 19 日 (火) 14:00~17:00

会場：水戸プラザホテル

会費：ICPE 会員 無料 (何名様でも)

非会員 3,000 円 (お一人様)

(株)九州タブチは、サドル分水栓・水道用継手などの給水装置のパイオニアである(株)タブチ (大阪市) の子会社で、1970 年に設立されました。TBC (タブチ) グループの生産の大半を担い、鹿児島県霧島市に本拠を構え 2 工場体制で多種多様な製品のものづくりを行っている製造機能会社です。

住宅着工件数が常に右肩上がり拡大していく市場において、九州タブチのものづくりの考え方はロットでものを流す大量生産方式、典型的なプロダクトアウトでした。大きな転機となったのは 1997 年の消費税率変更です。駆け込み需要の後、住宅着工件数は急激に低下し、その市場の変化に対応できずに赤字決算となり、リストラも余儀なくされました。そのような環境の中、作業改善の手法として「必要なものを作り、運ぶ」トヨタ生産方式を導入することと同時に経営の在り方を考える必要を感じ、経営品質向上活動をスタートしました。「お客様とは誰か」「お客様は何を求めているのか」を追求し、これまで自社や本社のみに向いていた視点から、タブチグループとして「当社の役割は何か」「ありたい姿・なりたい姿は何か」を経営幹部で活発に議論するようになり、事実前提の経営から価値前提の経営へ転換してきました。経営品質向上活動を推進していく中で、鹿児島県経営品質賞に応募し、2008 年度に優秀賞、2011 年度には知事賞 (大賞) を受賞されました。世の中が大きく変化し、社会構造の変化や従来の需要と供給のバランスが崩れていく状況の中、会社が長く生きていくためにはお客様にとって、無くてはならない製品やサービスを将来にわたって提供していく事が必須になります。そのためには、社員一人ひとりが周りの変化を感じながら、自ら考え、自ら行動する「自主自立」の精神を基本に、それぞれが持つ能力を存分に発揮し、自己革新を通じて新たな価値を創造し続けることを目指して、経営品質の考え方を経営における中心に置きながら活動を推進しています。

今回の月例会は「2018 年度日本経営品質賞」を受賞した企業の経営トップをお招きし、「経営品質」を活用した経営革新についてご講演いただきます。お客様に選ばれ続ける会社を目指し、様々な課題に直面しながらも、全社一体となって地道に取り組んできた取組み事例を、たっぷりお話いただきます。

皆さまのご参加をお待ちしております。

# 日本経営品質賞を受賞し思うこと

## 社員の子どもが働きたいと思える魅力的な会社を目指して

講師：鶴ヶ野 未央氏（株九州タブチ 代表取締役社長）

（2018年度日本経営品質賞受賞企業）

日時：令和元年11月19日（火）14：00～17：00

会場：水戸プラザホテル

会費：ICPE会員：無料（何名様でも）

非会員：3,000円（お一人様）

※尚、後日請求書を郵送させていただきます。

### お申込書 ※申込締切 11月18日（月）

FAX 029-243-5374 e-mail icpe.kikuchi@nifty.com

会社名  ICPE会員企業  
(申し込み中も含まれます)  
 非会員企業

住所 〒 -

電話番号 FAX番号

参加者氏名 役職

参加者氏名 役職

参加者氏名 役職

参加者氏名 役職

#### ◆ お問い合わせ ◆

NPO法人 茨城県経営品質協議会（菊池）水戸市笠原町 1189-2 グリーンヒル西野ビル 2F

TEL 029-306-7357 FAX 029-243-5374 URL <http://www.icpe.or.jp>

※今回の申込データにつきましては、請求書の送付、セミナーのご案内、講師への名簿参照及び受付名簿以外の目的では使用しません。また、細心の注意をもって管理し、個人情報の漏洩、紛失、き損又は参加企業様の権利利益を損なうことの無いよう努めます。